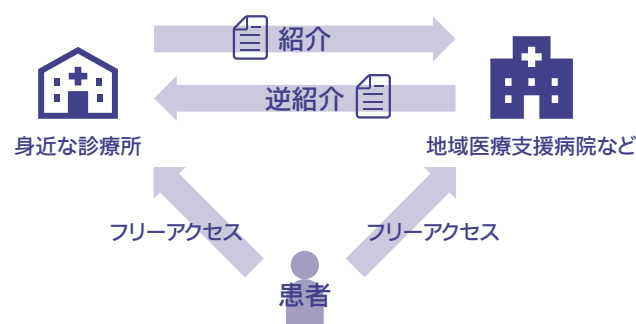


今回のゴール

ここまでに学んだ医療機関ごとの役割が実際にどう機能しているか、紹介状のしくみから学びましょう。

医療機関の連携をとるための紹介状

図表ですっきり フリーアクセスと紹介の流れ



日本では、病気やけがをしたときに患者が全国どの医療機関でも選ぶことのできる制度が整っています。これを「フリーアクセス」といいます。当たり前の制度のように思われますが、世界を見渡してみると、通うことのできる医療機関がそれぞれ決められていることや、事前に医療機関を登録する必要があることもあります。

貴重なフリーアクセスですが、さまざまな医療機関ごとの役割を機能させるために、「紹介状」というしくみがあります。紹介状は、正式には「診療情報提供書」と呼ばれます。

紹介と逆紹介

プライマリ・ケア を担っている身近な診療所で患者が診療を受けたあと、より専門的な検査や治療が必要だと医師が判断したときに、地域医療支援病院 などの規模の大きな医療機関に紹介することがあります。

このとき、すでにおこなった検査やこれまでの治療の状況などを紹介状に記載することで、紹介を受けた医療機関での重複した検査などを避けることができます。また、患者が第二の意見を求めて別の医療機関への紹介を依頼することを「セカンドオピニオン」といいます。

紹介を受けた医療機関での診療が順調に進み、症状が安定したと紹介先の医師が判断した場合には、反対に紹介元である患者の身近な診療所などに対して紹介する、ということがあります。これを「逆紹介」といいます。

このように、医療機関ごとに分けられた役割や機能に応じて適切な医療を提供するためにも、紹介状は重要なしくみなのです。

かかりつけ医

フリーアクセスが原則であるため、紹介状を持参しなくても別の医療機関を受診することはできます。ただしその場合、慢性的な病気についても初期からの診療の必要があったり、重複した検査をおこなったりして、患者の負担が増してしまうことがあります。

効率のよい医療を提供するために、日常的な健康に関することを患者が気軽に相談できる医師が、「かかりつけ医」です。まずはかかりつけ医が初期の診療をおこない、必要に応じて紹介状を発行するという流れによって、地域医療 としてうまく連携を図ることができます。

ゴールチェックテスト 正しいものを選びましょう

- 1 全国どの医療機関でも選んで受診することができる制度を、【A.フリーアクセス B.プライマリ・ケア】 という。
- 2 地域医療では 【A.かかりつけ医 B.開業医】 がまず初期の診療をして、必要に応じて紹介状を発行する流れが望ましい。

つながる学習

プライマリ・ケア

4歩目「病院の大小でどんな違いがあるの？」

地域医療支援病院

5歩目「病院はさらに細かく分かれる？」

つながる学習

地域医療

5歩目「病院はさらに細かく分かれる？」

正解は次ページへ

今回のゴール

1歩目～7歩目の「ゴールチェックテスト」を振り返り、医療機関の基本について大切な学習ポイントを確認しましょう。

ここまでの「ゴールチェックテスト」解答集

1歩目

このテキスト全体を通して、**医療機関の基本と医療の仕事**を学ぶ。

医療機関における職種は**医師だけではない**。

2歩目

すべての国民が誰でも人間的な生活を送ることのできる権利のことを**生存権**という。

医療法のなかで、医療とは命を尊重し**個人の尊厳**を守るものとされている。

3歩目

医療に携わっている職業は**医療機関だけでなくさまざまな組織**に勤めている。

患者に対して医薬品を提供しているのは**薬局**である。

4歩目

医療機関は病床数で大きく2つに分けられ、病床数が19以下の医療機関を**診療所**という。

病院は診療所よりも高度な医療を提供する体制を整えるため、医師は**3人以上**必要である。

5歩目

臨床研究の計画を立案して実施する機能、研修をおこなう機能をもった病院を**臨床研究中核病院**という。

高度な医療の提供、医療技術の開発や研修をおこなう機能をもった病院を**特定機能病院**という。

地域全体で住民の健康を支えるための医療として、中心的な役割を果たす病院を**地域医療支援病院**という。

6歩目

国立大学附属の大学病院や、独立行政法人国立病院機構などの国が開設者となっている医療機関を**国立医療機関**という。

明治天皇によって生活困窮者のための医療機関として創設されたことを起源とする済生会病院は**公的医療機関**に含まれる。

最も多い医療機関である私立医療機関のなかでも、**医療法人**が日本にある医療機関のうち半数以上を占めている。

7歩目

全国どの医療機関でも選んで受診することができる制度を、**フリーアクセス**という。

地域医療では**かかりつけ医**がまず初期の診療をして、必要に応じて紹介状を発行する流れが望ましい。



WEBテストでここまでの学習を点検

受講生専用サイト「ソラストディ」で1回目のWEBテストを実施しましょう。1歩目～7歩目の学習範囲からランダムで出題され、何回でも挑戦して復習することができます。

ソラストディはこちら▶



<https://ps.learning-ware.jp/solastudy/>
※「ソラストディ」のログインには通信講座受講生専用のIDが必要です。